

平成 23 年度第 5 回熊本県環境影響評価審査会
議事概要（西部環境工場代替施設整備事業分）

1 日 時

平成 23 年 12 月 27 日（火）午後 1 時 30 分から 2 時 40 分まで

2 場 所

熊本県庁行政棟本館 5 階 審議会室

3 出席者

（1）熊本県環境影響評価審査会委員

矢野会長、青木委員、植田委員、河上委員、小島委員、寺崎委員、中野委員、古川委員、逸見委員、三角委員、棕木委員、渡邊委員（14 人中 12 人出席）

（2）同審査会事務局（熊本県環境生活部環境局環境保全課）

清田課長、上村課長補佐、安永課長補佐、廣畑参事、池田主事

（3）事業者等

10 人

（4）傍聴者等

傍聴者なし、報道関係者なし

4 議 題

西部環境工場代替施設整備事業 環境影響評価準備書について

5 議事概要

西部環境工場代替施設整備事業 環境影響評価準備書について、事務局（環境保全課）から、今回の事業概要と熊本県環境影響評価条例に基づくこれまでの手続の経過及び今後の手続の流れについて説明。その後、審査会意見（案）について審議が行われた。審議の内容については、以下のとおり。

【事業計画に関する事項】

委 員

ここまでの内容について審議に移りたい。まず、「事業計画に関する事項」について。最初の私の意見だが、意見の内容はこれでよい。事業者見解について質問する。

準備書の p2-12 に、新工場の配置図があるが、この配置計画は環境影響

評価において極めて重要。配置によって影響が回避できれば、その後の対策等も軽減できるので、私は、新工場はできるだけ東側に寄せるべきだと思っている。事業者見解では、種々の作業をするうえで、これ以上寄せるのは難しいと書いてあるが、本当にそうか。相当スペースがあるので、技術的には現工場にさらに近づけて造ることもできるはず。運用していくうえでこれだけのスペースが必要なのか。あと 10mでも寄せればかなり緩和になると思うが、どうか。

事業者 基本的には私たちも委員と同じ考え。たしかに新工場を東に寄せれば、今焦点になっている西側の民家からは遠くなる。一方、この図面にはないが、南側にはまた別の集落があり、2集落との協議の中で、「離隔」は際立った論点になっている。一方から遠ざけると、もう一方の集落に近づくといい中で、地元住民との協議が一つの決定要因であり、合意に至ったおよその位置がこの辺りだということに理解してもらいたい。

委員 了解した。地域住民が了解しているのであれば、それでけっこう。

(「大気環境」、「水環境」に関する意見(案)について、特に追加意見等なし)

【土壌に係る環境その他の環境】

委員 ○○委員、p 6～7にかけて3つ意見があるが。

委員 まず土壌図について、同一の地域について2種類の土壌図を出すのはおかしい。後の方が精度が高く調査してあるので、そちらでお願いしたい。カドミウムについてはこれでけっこう。

委員 それから、p 7の意見事項はよいか。

委員 一つよいか。フッ素に関する事業者見解で、一部で 15～91mg/kg 含有しており、地域的な特性であるというコメントがあるが、表を見ると No. 2と No. 4の地点はそれぞれ 120mg/kg と 110mg/kg であり、この範囲を超えている。見解の妥当性について、どうなのか。

事業者 一応レベル的に近い値だったので、このような回答としたが、今の意見を反映し、もう一度考えたい。

委員 追加でよいか。

○○委員の意見で、銅の溶出量が多いという結果について、熊本市内の広範囲にわたる調査とあるが、この銅の溶出量というのは(今回行われた

調査とは) まったく分析法が異なると思う。これは酸による溶出試験なので、高い値が出るのが当然。そこを修正してほしい。

委員 今の意見に対して回答できるか。

事業者 もう一度分析法を確認して回答を作成したい。

委員 この調査結果(事業者見解の調査結果)は、あくまで含有量。準備書の溶出量とは分析法が違うので、比較はできないと思う。

それから、「地域的な特性」という言葉があるが、これだと熊本市がいかにも高いような感じでとらえられかねないので、この言葉もできれば削除してもらえるとありがたい。これは鉛についても同様。

委員 今の〇〇委員の指摘を受けて、事業者が修正したものを出すのか。

事務局 この後、評価書案を作成するが、その段階で〇〇委員と〇〇委員にチェックしてもらおう形をとりたい。

委員 ではそのように進めたい。

【動物・植物・生態系】

委員 p10、〇〇委員の留意事項に関してどうか。

委員 ちょっとよいか。〇〇委員の意見についてだが、「チカダイ」というのは通称。正式名称は「ティラピア」若しくは「ナイルティラピア」なので、修正してほしい。さらに、「熊本における越冬は困難」とあるが、江津湖周辺の湧水域では越冬しているので、「対象事業実施区域周辺」という風に修正しないと誤りになる。

事務局 承知した。そのように修正する。

委員 p12、〇〇委員から留意事項が2点あるが。

委員 「多様性指数」とあるが、「多様性」の方が一般的ではないか。「diversity index」のことだが。

委員 「index」だと「指数」になる。

- 委員 「多様度」か「多様性」か。
- 委員 「多様性」は一般的に生物が豊かだという指標。「多様度指数」となるとこれは数値。どちらの意味なのかを確認しないとわからない。
- 委員 「多様度指数」という言葉が一般的なのか。
- 委員 どちらも使うのだが、「多様度指数」といった場合は「3.5」というような数値になる。
「多様性」というのは生物の豊かさなどを表す言葉なので、数値を指すわけではない。言葉の使い方としては、確認しないとわからない。
- 委員 ここでは値を書いている。
- 委員 では、「多様度指数」でよいと思う。多様度指数は定量的な指標の一つとして重要なデータ。
- 委員 このままでよいか。わかった。

【景観・人と自然との触れ合いの活動の場】

- 委員 p14、〇〇委員。留意事項に関して。
- 委員 言葉の間違いで、「その他の緒元」とあるが「しよげん」の「しよ」は「諸」だと思う。
- 事務局 修正する。
- 委員 一応確認してほしい。

（「廃棄物等」、「文化財」、「その他」に関する意見（案）について、特に追加意見等なし）

- 委員 その他に意見はないか。
（特に意見等なし）
では一部指摘があった事項その他の修正を踏まえて、事務局から説明があった様式で整理し、私の名前で審査会意見として知事に提出する。
- 事務局 一つよいか。
先ほど〇〇委員の意見について「事前にチェックしてもらおう」という話が出たが、事業者の方ではすでに追加調査を行ったり、シミュレーション

委 員

画像を作成したりという作業が進められている。これらについても、事前に相談できる分については、委員に相談したうえで評価書に掲載するという形をとりたいと思う。よろしく願います。

そのように願います。

では、これをもって「西部環境工場代替施設整備事業 環境影響評価準備書」に関する審議を終了する。

※ 配布資料

①会議次第

②「西部環境工場代替施設整備事業」環境影響評価準備書に対する審査会意見のとりまとめ（案）

③「熊本県公共関与管理型最終処分場建設事業」環境影響評価準備書に対する審査会意見のとりまとめ（案）

④「〇〇〇事業」環境影響評価準備書に関する熊本県環境影響評価審査会意見（様式）

⑤参考資料

- ・ 審査会意見形成に係る各委員の個別意見の取り扱いについて
- ・ 「熊本県公共関与管理型最終処分場建設事業」環境影響評価準備書に関する関係市町長意見